

基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	社会学 1単位 30時間	
開講時期	1年次 前期	
担当教員	洪 性旭	
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>【科目のねらい】</p> <p>現代の健康・医療においては、生物医学等の自然科学のみならず、社会科学の視点から捉えることが重要となってきました。</p> <p>本講義では、社会学の視座から人間の行為、社会集団、現代社会の成り立ちと諸問題等を捉える方法を身につけます。その上で、現代社会の中の健康・病気と医療を対象とする「医療社会学（健康の医療の社会学）」について学習します。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①社会学の基礎レベルの概念と理論に関する知識を身につける。</p> <p>②社会調査を読み解くための基礎レベルの知識を身につける。</p> <p>③現代社会における健康・病気・医療（教科書各章の内容）について、社会学の視座から述べることができる。</p>		
授業計画・内容・担当教員		
1回目	ガイダンス、社会学の基礎 社会学の誕生、社会学の基礎概念	講義
2回目	社会学的視点とモデル 社会的行為と社会関係、地位と役割ほか	講義
3回目	保健医療と社会学 「社会的水準」の理解、保健医療社会学の視座	講義
4回目	健康・病気・ストレスの新しい見方ととらえ方 近代化とパラダイムシフト、近代医療の考え方	講義
5回目	社会調査の理論と技法（1） 学術調査と実務調査、量的調査と質的調査	講義
6回目	社会調査の理論と技法（2） 社会調査の読み方、作り方	講義
7回目	健康・病気の社会格差 健康格差・ヘルスリテラシーほか	講義
8回目	「働き方」「働かせ方」と健康・病気 日本の働き方の変遷、バーンアウトほか	講義
9回目	健康・病気行動と病経験 病気行動論の考え方、「病の語り」ほか	講義
10回目	患者-医療者関係とコミュニケーション 社会学におけるコミュニケーション、患者-医療者関係の捉え方	講義
11回目	性・ジェンダー・家族と保健医療 社会的カテゴリーとしての性・ジェンダーの捉え方ほか	講義
12回目	地域社会と保健医療 地域コミュニティと健康・保健との関係	講義
13回目	保健医療制度とその現代的変化 福祉国家の中の医療システム、日本の医療制度と国際比較の視座	講義

14 回目	ケアと医療 「ケア」の定義と時代による変化、社会のあり方との関係 ほか	講義
15 回目	最終試験	
評価方法	小テスト 30%・最終試験 70%	
受講生に 対する メッセージ	基本的に座学方式で進めますが、必要に応じてグループ・ディスカッションを行ってもらいます。 随時、前回の授業内容を確認するための小テストを行います。必ず復習すること。	
テキスト	『系統看護学講座 基礎分野 社会学』医学書院 毎回、授業資料を配布します。	
参考書	中川輝彦・黒田浩一郎、2010『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房	